

未来に向かって 一人ひとりが輝く北っ子!

～考え動き 人とつながり 挑戦し続ける子～

運動会に向かって

一学期が始まり、二週間が過ぎました。始まりは、「コロナウィルス第七波の猛威により、不安な日々ではありましたが、子どもたちは毎日元気に登校し、熱中症で体調を崩す子もなく、良いスタートを切ることができました。

いよいよ運動会開催まで二日となりました。この通信を読んでいただくころには、運動会も無事終了していることと思います。

この二年間の運動会は、感染症対策としての制限が加わり、大幅な変更を余儀なくされました。特に、高学年のリーダーシップが発揮される応援合戦は、声を出すこともできず、歯がゆい思いをしたことでしょうか。今年は、声を出して全身で応援できるようにしています。隣と距離を置くことで、思いっきり体と声で気持ちを出せるようにしました。どの色組が優勝するか最後まで



全校生の入場練習の様子

分かりませんが、どの色組も声を掛け合いながらどうすれば見ている人に伝わるかを考え、見事な応援に仕上がっています。

この二学期の初めに、「考えて動くこと」「やり抜くこと」の二つを話しました。

運動会では、「やり抜くこと」によって、難しいダンスもあきらめずに取り組み、暑さのなかでも弱音を吐くことなく最後までやり切った達成感は、何物にも代えがたい素晴らしい経験です。また、最後までやり抜く力は応援してくださいという方々に「感動を与える力」となっていくことでしょうか。

どの学年も、かけっこ、リレー、表現演技など、自分の力を出し切って、練習してきました。この短い期間にどの子も成長したと感じています。結果ではなく、しんどくても、一生懸命取り組んできたことに意義があります。当日は、勝ち負けの結果ではなく、ここまで頑張ったことを褒め、みんなで子どもたちの達成感や自己有用感を高めていきたいと思っています。一年に一度しかない運動会です。運動会の教育的意義を保護者とともに共有し、子どもたちの成長を全力で応援していきたいと思えます。今年の運動会も子どもたちにとって良き思い出となることを願いながら、筆を執っています。



応援練習の様子

ノートのとり方「いくらまき」

本校では、子どもたちのノートについて、全校生に、毎年、啓発しています。ノートのとり方をどの学年も同じように指導することで、学年や、教科の担当が変わっても迷うことなく四月の学習がスタートできるからです。

ノートのとり方のポイントは【いくらまき】です。これは、「東大合格生のノートは美しい」の著者太田あやさんのお話を受けて、北小版に作っています。この【いくらまき】の合言葉は、子どもたちに良く浸透していて、「今日はノートのとり方の話をするよ」というと「いくらまきの話やな。」と返事が返ってきます。

ノートは、学習の足あとを残したり、メモとして記録をしたりする役割だけではなく、自分の考えを整理し、深めていくための役割もあります。自分の考えを広げていくために、イメージや思いつくことを書き、まとめていくこと

にも役立ちます。子どもたちの思考力をさらに高めていくために、これからもノートの活用を図っていきたいと考えています。

認定証

年 _____

あなたはコツコツと自主勉強に取り組みました。
自主勉強名人として表彰します。
これからもどんどん学習して自分の知識を増やしてください。

丹波市立北小学校
黒田 睦美

今年も自主勉強認定証を発行します。目標をもって頑張ることを支援します。

ノートのとり方ポイント

- い つもじぶんのために
- く ろいがいは あと2~3色
- ら いんをつかう
- ま ちがよい・考えは消さない
- き つきは メモする

